

内装評価基準

評価	内装評価基準
s	登録後1年以内で走行4000km未満のもの ダメージがないもの
a	新車状態同様に近いもの
b	若干の汚れ程度（ルームクリーニングで回復する程度）のもの
c	軽微な加修を必要とするもの、または不具合内容があるもの 焦げ、破れ、ビス穴、ヒビ割れ等や汚れが若干あるもの
d	加修が必要なもの、またはルームクリーニングで汚れ等が落ちないもの 欠品部品が多少あるものや車内異臭があるもの
e	大きな加修を必要とするもの 多数の欠品部品があるもの

修復歴評価基準

評価	修復歴評価基準
A	骨格部位に交換があるもの 骨格部位に大きな曲がりがあるもの 修復箇所が粗雑な仕上がりなもの
B	骨格部位に修正があるもの 骨格部位に曲がりがあるもの
C	骨格部位に軽微な修正があるもの 骨格部位に軽微な曲がりがあるもの

修復歴車の外装補助評価

評価点	内容
A/4・B/4・C/4	外装がきれいでほとんど補修の必要の無い車
A/3.5・B/3.5・C/3.5	目立つ傷や、ヘコミなどがあり、補修の必要な車
A/3・B/3・C/3	各部に補修が必要な車や、大きな損傷がある車

外装補助評価はあくまでも外観の状態のみを示す。